

第4回（仮称）学習文化交流施設基本計画検討委員会会議概要

【日 時】平成25年3月15日（金） 13時26分～14時59分

【出席者】

委員：谷津委員長、山崎委員、安田委員、中村委員、石井委員、阿部（邦）委員、
高木委員、澤口委員、阿部（成）委員、沢田委員、佐藤委員（代理出席）、松浦委員、
豊田委員（代理出席）、渡部委員、渋谷委員、田口委員
（欠席者：羽根川委員、呉宮委員）

事務局：田口政策企画課長（兼委員）、渡部主幹兼班長、似鳥主査、成田主任

1 開会（13：26）

2 委員長あいさつ

愛称が「コモッセ」に決定したということで連絡をいただいたが、「コモンズ（Commons）」という言葉の思い浮かべた。これは「共有地、平等に共有されるもの」という意味であるが、今、この「コモンズ」に注目が集まっており、例えばインターネットはいつでも、どこでも、誰とでもつながれるという点で「コモンズ」である。考えてみれば、ワークショップでも検討委員会でも「コモンズ」がどうあるべきかを議論してきたものであり、そういう意味でも「コモッセ」は素晴らしい愛称であると思う。また、「コモッセ」の語尾には意志を感じさせる力強さもある。

委員の皆さまには本日も活発な議論をお願いしたい。

3 案件

（1）（仮称）学習文化交流施設愛称の決定について

・成田主任より資料1について説明。

【質疑・意見】 特になし

（2）（仮称）学習文化交流施設管理運営基本計画（案）について

・似鳥主査より資料2、管理運営基本計画（案）について説明。

【質疑・意見】

（委員長）今回の検討委員会でまとめたいということであるので、1章ずつご意見、ご質問いただくこととして、第1章の「管理運営基本計画について」ご意見、ご質問お願いしたい。

（委員長）第2章の「管理運営の基本方針」についてご意見、ご質問お願いしたい。この部分はこれまで何度も議論してきたところであるので問題ないかと思う。

（委員長）それでは第3章の「事業計画」についてご意見、ご質問お願いしたい。

（委員）8ページの言葉の使い方で「市民」「利用者」「来館者」とあるが、統一した方がよいのではないか。「来館者」とすると限定した表現になるため「市民」としても差し支えないものとする。また、下から2番目の「文献資料」とすると文献的

なものに限られてしまい、チラシなどの細かい資料を含まないことになるので、「文献」「資料」と分けて記載した方がよい。一番最後の「図書情報の電子化」は何を指すのか分かりづらいため、「資料の電子化」のような表現が一般的であると思うがいかがか。上から3番目の「様々な利用者の多様かつ専門的な～」の表現も必ずしも専門的な資料探しである必要はないため「市民の様々な調査活動を支援～」というように改めてはいかがか。他のページにも同様に「利用者」という表現があるため、広く「市民」とした方がよいと考える。また、11ページの下から2番目は、「児童図書」については「図書資料」とし、「読み聞かせ」は「読み聞かせ活動」とした方がよい。13ページの4の(2)であるが、図書館はどの区分に含まれるか。ホールなどのイベントを意識しているようであるが、読書啓発や学習支援など図書館の事業についても記載した方がよい。

- (委員長) 言葉の定義など厳密にした方がよいとのご意見であったが事務局はいかがか。
- (事務局) ご指摘のあった「市民」「利用者」「来館者」とある中で、「利用者」「来館者」と限定する必要がないものは「市民」としたい。また、文章としておかしい点については適切な表現に改めたい。13ページの4の(2)については、ご指摘のとおりホールや市民センターでの事業を意識したものであるため、図書館の事業を追加する形で見直したい。
- (委員) 前に戻ることになるが4ページの「管理運営基本計画の目的」のポイント3について伺いたい。この施設は「にぎわい」や「人が集まる場所」というものを大事にしなければならないということで様々な検討をしてきた。花輪市民センターの年間利用者は4万5千人、山崎委員から新しい図書館は10万人は見込めると聞いており、羽根川委員からホールは7万人の利用が見込まれ、子育て支援施設は現状5千人の利用があると聞いている。あわせて22万人の利用が見込まれるものであり、複合施設の効果を考えるとさらに人数が増えるのではないかと期待している。そこで、この利用見込み人数を実現あるいは持続的のものにするためにはポイント3の「プロデュースする人材の確保」に尽きると思うが、人材の確保については外部からの人材を公募するのか、今いる人を育成するのか、どのように考えているか。
- (事務局) プロデュースする人材の位置づけについては15ページの管理運営体制図に「コーディネーター」として調整役や推進役として位置づけている。このような人材の配置が必要であることは認識しており、どのような形で配置していくかは25年度中に方向性を固めて、できるだけ早い段階から人材を確保し、配置できるような体制を考えていきたい。
- (委員長) 4ページについて、ポイント1、2、4は「目指します」という表現であるのに対してポイント3は「求められます」という消極的な表現となっているため、他の3点と同様に「目指します」という表現にできないか。
- (事務局) このポイントに関しては管理運営基本計画を策定する上での重要なポイントを明確に掲げるための説明文として「目指します」「求められます」という表現としているが、表現として相応しくない部分については見直したい。
- (委員) 先ほど「外部人材」の話があったが、全体の施設管理は直営を想定されているよ

うだが、直営でやるのと外部からコーディネーターを招聘するのでは全く違ったものになると思うがどのように考えているか。

(事務局) 可能性としては外部人材を含めて検討していきたいということである。

(委員) 私自身が関わった例でも外部から人材を招聘したケースがある。例えば長野県の小布施町では映像クリエイターの方が携わった。岩手県の紫波町ではデザイン関係のコンサルが全体の調整役として「まちづくり」の観点から施設利用のコーディネートを行った。複合施設であれば1つの機能の専門家では足りないため、全体を見渡せる人材が必要であるが、外部には優秀な人材がたくさんいるので、それを含めて検討していただければよいと思う。

(事務局) 山崎委員がおっしゃられるとおり、「まちづくり」という視点からこの施設についてプロデュースあるいはコーディネートする人材というと、市役所の内部よりは外部からの意見をいただく方が情報発信力を含めて違った取り組みが可能になるものと考ええる。まだ人員配置などについて踏み込んで整理できていないが、いただいたご意見を基にプロデュースあるいはコーディネートする能力を持った人材を取り入れていければと考えている。

(委員長) コーディネーターについては基本構想の段階から議論となっており、複合施設であることから包括的にものを見られて提案できる人材が必要となる。この場でどこにその人材を求めていくかという議論はできないが、トータルにコーディネートできる見識を持った方が必要である。

(委員) プロデュースする人材については能力のある方が望ましいと考えていたので今の説明について心強く思っている。そこで、プロデュースの方とは別に、顧問という形で谷津委員長や山崎委員、羽根川委員のように施設の検討に携わってきた見識を持つ方に外部から見ていただき、年1回でも話を聞く機会を設けてはいかかがか。

(委員長) 今のご意見はコーディネーターの他に一緒に議論できる方をということであると思うが、顧問という形で盛り込むのはなかなか難しいのではないか。コーディネーターに一番肝心の総合的な視野を持った方を配置し、その方の裁量でやっていただくのがよいと考える。

(事務局) 沢田委員のご意見についての組織的な位置づけとしては15ページの管理運営体制図中に運営協議会というものを置いているが、今後の議論の中で外部有識者を置ける可能性があれば検討していきたい。

(委員) 私は紫波町に「アドバイザー」という肩書きで参加している。紫波町も複合施設であるため、それぞれの分野の専門家をアドバイザーとして町長が委嘱している。専門的な部分はコーディネーターでは難しいこともあるかと思われる。常に行くわけではなくて会議に参加したり、また、会議では具体的な助言を行うのは難しいため、担当者と一日かけて相談や実際に作業を手伝ったりしている。今はそこまで決める必要はないかと思うが、想定していただければと思う。

(委員長) 全体の運営と関わる話であるので第4章の管理運営体制図の部分で議論いただければと思う。第3章について他にご意見は。

(委員) 各機能をどのように一緒に運営するか積極的な提案を出されているが具体的なイ

メージがわからない。子育て支援施設は文化ホールでイベントを行った場合、託児を行うとしているが、子育て支援施設の開館時間は18時までとしている。一方、ホールは22時までの開館としており、時間が合わないためイベントの際、託児できないのではないかな。

- (委員長) 第5章となるが、子育て支援施設の開館時間については開館時間を9時から18時までとしているが、臨時の託児は主催者の希望時間にあわせて対応することとしている。
- (委員長) 当然、イベントの際に託児するというのはワークショップなどでも意見をいただいていると思うが、記載されているのは通常の業務時間ということである。先ほどのアドバイザーに関して記載するかは市の方で検討していただきたい。分かりづらい図となっているが他に組織運営についてご意見は。
- (委員長) 協議会や市民参画・運営支援について全体をイメージしたものであると思うが、実際には個別に必要になってくる。例えば法律上のものとして図書館運営協議会というものがある。市民参画・運営支援についてもそれぞれの機能ごとに個別の組織があると思う。それをまとめて全体を見たということによいか。
- (事務局) 全体のイメージのとらえ方であり、図書館協議会やボランティアなどについてはそれぞれの機能の下につく形になる。
- (委員長) 運営協議会、連絡会議、市民参画組織など階層が多くあり、さらにそれぞれの機能ごとにいくつも組織があるため、もう少しシンプルな形にした方がやりやすいのではないかなと思う。会議開催回数が多くなり事務局の負担が増すことにもなる。
- (委員長) 運営協議会は各機能を包括する組織であり、市民参画・運営支援は各機能の下についた方が分かりやすく運営もしやすいと感じる。
- (事務局) ご意見を取り入れて整理したい。
- (委員長) 整理していただくと分かりやすい図になると思う。他にご意見は。では、第5章の施設管理計画についてご意見をいただきたい。第5章には開館時間が具体的に記載されている。さきほど子育て支援施設についてはイベントの際の託児について対応していくとのことであった。
- (委員長) 図書館の開館時間について、土日祝日を19時までとしているが、職員の負担とならないか。開館時間を長くした方がよいのだが、一般的に土日祝日は17時または18時までとしているケースが多い。平日とは人の流れが変わる。また、メンテナンスや館内整理など一定期間の休館日は必要となるため、留意されたい。
- (委員長) ワークショップなどでの意見が反映された開館時間であると思うがいかがか。
- (委員長) ワークショップの意見を受けて、現行では第三日曜日、毎週月曜日、祝日を休館としているものを、このようにしたものである。ただし、土日祝日については、山崎委員より指摘された点を考慮せずに記載しているため、検討させていただきたい。
- (委員長) 一度決めたものを戻すことは難しい。県立図書館で調査したところ、夜間は朝に比べて利用者が少なかったため、土日祝日は18時以降は閉館しても問題ないのではないかな。
- (委員長) 新しい図書館は、学生や今まで利用していなかった人に利用して欲しいと考えて

おり、平日 9 時の開館とすると学校や仕事に行ってしまうので、人の流れにもよるが、土日を 8 時開館・17 時閉館とする考えがあってもよいのではないかな。

(委員) 8 時開館であれば準備に最低 1 時間は必要であるため職員は 7 時出勤となる。

(委員) これまで利用できていない方が利用できる時間として朝はどうかと考えた。

(委員) 土日であれば 9 時でも早いほうだと思う。県立図書館は 10 時開館としている。職員はおそらく 8 時半出勤であると思うが、9 時開館とすると 30 分の準備時間では間に合わないのではないかな。

(委員長) 最初からハードルを上げると大変なので、利用実態を見ながら時間を変えていけばよいと思う。ここは 9 時から 18 時までとしてはいかがかな。8 時からとの要望が強ければ対応することにしてはいかがかな。

(委員) 人件費と光熱水費の問題であり、また、一度広げたものを狭めるというのは現実問題として無理である。

(委員長) 他にになにかご意見は。なければ第 6 章の広報宣伝計画についてご意見をいただきたい。愛称については素晴らしい愛称を選定いただいた。以前山崎委員からご意見があったように、これから印刷物、ロゴマーク、イメージカラーを含めた C I 計画のようなものが必要になってくるが、ロゴマークの募集は現在やっているのか。というのも、先日東北工業大学で 50 周年記念のロゴマークを公募したところ全国から 1200 通の応募があった。ロゴマークの公募には全国から多数の応募が集まりやすいので、今回決まった愛称を広めるという観点からも様々な媒体を使っていたきたい。

(委員) 「コモッセ」という愛称は非常によいと思うが、施設の名称「鹿角市文化の杜交流館」と続けて見ると非常に堅い印象を受ける。提案者はひらがなでもカタカナでもよいとのことだが、ひらがなの方が親しみやすい印象を与えると感じる。

(委員長) 難しい問題である。カタカナ表記だと新しい感じがして、ひらがな表記だと暖かみがあるが古い印象を受けるが、この問題は様々な意見があるだろうから難しい問題である。

(委員) 字体を変えるなどで柔らかい表現に対応したい。

(委員) 「広報宣伝計画」とあるが、「広報計画」でよいのではないかな。「宣伝」を入れたのは何か意図があるのか。

(委員長) 私も「宣伝」は不要であると思う。では、次の第 7 章「収支計画」についてご意見をいただきたい。

(委員長) 特にないようなので最後の第 8 章「その他」について、今後のスケジュールとあるが、工事の進捗に合わせて進んでいくと思うが、このように進めていきたいということである。

(委員) 建設工事に入っていると思うが、既施設からの移転に要する期間は通常半年程度必要であるので、そこを記載しておいた方が分かりやすいのではないかな。また、資料収集、備品購入などの計画を記載してもよいのではないかな。

(事務局) 移転等に関して具体的に記載していない。山崎委員のご指摘では移転には半年程度かかる見込みとのことであるが、現在のスケジュールでは平成 26 年の 12 月に竣工してからの 3 ヶ月を準備期間として見込んでいる。

- (委 員) 現行の図書館の整理と新施設の準備とあるので分けた方がよい。
- (委 員 長) 移転計画についても追加してはいかがか。
- (委 員) この後も市民ワークショップを開催するようであるが、参加人数がだんだん少なくなっている。また、最初から参加人数が足りないと思われるため、高校生が参加して良かったわけだが、幅広く呼びかけて欲しい。
- (委 員 長) ワークショップの開催回数は。
- (事 務 局) 来年度は4～5回の開催を予定している。参加人数については課題であると認識しており、来年度以降は事業や運営面に関わっていただくといったテーマで行う予定であるので幅広く呼びかけたい。
- (委 員 長) 場合によっては、高校生、中学生、小学生にも参加してもらおうと親もついてくるので検討いただきたい。それでは全体を通して何かご意見は。
- (委 員) 12ページの交流広場の事業方針について、たくさんの人が交流して欲しいとあるが、「軽い飲食ができる」といった文言を入れる必要はないか。
- (事 務 局) 飲食ができるかできないかはまだ明確にしていない。この基本計画に記載していないが喫茶コーナーを設ける予定であり、喫茶コーナーとの連携もこの施設の特徴であるので、できる範囲で飲食のスペースを設けていきたいと考えている。いただいたご意見を文章に盛り込めるか検討したい。
- (委 員) 人を集めるという観点からすると飲食に関する文言があるかないとでは違うとを感じる。
- (委 員) 大きな規模の大会や式典などで複数の施設を借りたいとした場合に、窓口を一本化するなど借りる側に配慮していただきたい。また、中心市街地の活性化ということで、自家用車利用の方が市街地の駐車場を使ったときに、駐車料金の割引などの制度ができると中心市街地に人が流れると考える。
- (事 務 局) 施設利用の窓口に関しては一本化できるような体制としたい。駐車料金の割引ということであるが、他の事例では図書館のカードを提示すると商店街で割引が受けられるという取り組みをしている自治体があるため、商店街や商工会と連携して街に人が流れていく仕掛け作りを考えていきたい。
- (委 員 長) 何点か文言の修正などがあつたが、今日の会議で基本計画についてはご承認いただいたということとする。

4 その他

- (事 務 局) 現在、工事に着工しており、業者が準備作業を進めている。今月27日に起工式を行う。また、周辺住民への説明会を28日に花輪市民センターで行う。

5 閉会（14：59）